

インプラント治療のお話 part3

その2

インプラント治療の前に 【健康な歯はどうやって守るの?】

ではどのようにして、健康な歯を守るのでしょうか？前回、プロフェッショナルケアとセルフケアを適切に行っているれば30年間で2.5万人の方が一人平均0.6本しか歯を失わなかったという論文をご紹介しました。つまりプロフェッショナルケアとセルフケアを適切に行うこと、これがポイントです。

プロフェッショナルケアとは簡単に説明すると、「歯科医師・歯科衛生士による専門機器を使用した歯のクリーニング」ということになりま す。一般的に行われているのが「PMTC(プロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニング)です。このPMTCの目的は専用の器具、機器を使ってお口の中のバイオフィルムを除去することです。このバイオフィルムが虫歯、歯周病の主たる原因なのです。

虫歯、歯周病の原因であるお口の中のバイオフィルムとは、プラークのことで、その正体は歯の表面に層をなして堆積している細菌の

塊です。そしてこのバイオフィルムのやっかいなところは多種類の細菌の集合体ですので抗菌剤が効かないし、うがいなどではとれないところです。除去する唯一の方法が機械的な除去なのです。通常の機械的な除去は歯磨きということになりましたが、古くなったバイオフィルムはお家でのブラッシングでは除去されないので、そこでPMTCによる機械的な除去が効果を発揮するのです。ご家庭での歯磨きでは落とせないプラークや歯石を専門の器具を使って専門家が徹底的に除去するのです。余談ですが、PMTCが終わってお口の中のプラークが除去されると、通常の歯磨きでは、味違ったことのないツルツルと

した感覚を感想としてお話し下さる患者さんが多数おられます。そのくらいお口の中にはバイオフィルム、細菌の塊が存在するというのです。また、このPMTCにはフッ素入りのペーストを用いてプラークの除去を専用の器具で行うので、フッ素によるエナメル質の強化が計られ、いっそう虫歯になりにくいお口の中になっていくのです。

今回は、プロフェッショナルケアに対して車の両輪に例えられるホームケアについてお話をさせていただきます。



伊藤 創造 (いとう そうぞう)

岩手医科大学歯学部卒業、大学院でインプラントに関する論文で博士号を取得。その後、岩手医科大学歯科補綴学第二講座の講師として臨床等で活躍。1991年にトレント大学に留学。2014年におゆみ野インプラントセンターを開設。岩手医科大学臨床教授、日本補綴歯科学会・指導医、日本顎顔面補綴学会・認定医、日本歯科審美学会・認定医。国際口腔インプラント協会(IDIA)・Mastership。
おゆみ野総合歯科クリニック
☎043-300-3939